



# 令和8年度 苫前小学校グランドデザイン



## 学校教育目標

**徳知情体**

明るく たくましい子ども  
自ら考え エ夫する子ども  
思いやりのある すなおな子ども  
ねばり強く やりぬく子ども

### ■法令等

- ☆ 法令・学習指導要領
- ☆ 道・管内教育推進計画
- ☆ 苫前町教育執行方針
- ☆ 子ども・学校・保護者・地域の実態
- ☆ 保護者・地域の願い

### ■経営の基本方針

子どもと大人が安心して関わる学校へ！

- ☆ 安定した愛着を結ぶことで、人への信頼と自己肯定感を育み、自立に向けての土台を育成します。  
(信頼の土台)
- ☆ 誰一人取り残すことなく学びの基盤を身に付け、仲間とともに課題を解決することを楽しむ授業を構築します。  
(学びの基盤)
- ☆ 向上心をもって子どもの成長とともに喜び、一人一人が役割を果たすことで組織が機能する学校を目指します。  
(組織的対応)

### ■目指す15歳の姿

主体的に学び、  
自己を尊重する15歳

### ■キャッチフレーズ

もっと 苫小！

…苫小が一番…

児…学びたくなる学校  
保…通わせたい学校  
教…勤めたい学校

### ■苫小スタンダード

笑顔がはじけ、叫びがびく 苫小

- さわやかな挨拶
- 気持ちのいい返事
- 丁寧な言葉遣い
- 協力する仲間

### 目指す子どもの姿

- ◆ 自ら考え、選び、行動する子ども（主体性・自律性）
- ◆ 互いのよさを認め合い、協働して学ぶ子ども（相互性）
- ◆ 自分を大切に、挑戦を楽しむ子ども（自己肯定感・自己有用感）

### 目指す学校の姿

- ◆ 教職員が組織として課題解決に向かう学校
- ◆ すべての子どもの味方であり続ける学校
- ◆ 児童・保護者・教職員が誇りをもてる学校

### 重点教育目標

～考える力をのばそう！話し合ってもっとすごい自分へ～  
「自分で考える力」×「友達と高め合う力」＝「未来を拓く力」

- 重点1 考える力が伸びる授業づくり
- 重点2 安心して学び、安心して話せる学校づくり
- 重点3 みんなでつくる未来につながる学校づくり

### 重点取組事項

① 考える力が伸びる授業づくり  
(主体的・対話的で深い学び、基礎学力、授業改善)

#### ● 学びの力

- ・ 考える力
- ・ 話し合う力
- ・ 基礎学力

#### ● 目指す姿

- ・ 最後までねばり強く考える。
- ・ 友達と意見を交わし、学びを深める。
- ・ 基礎学力をしっかり身に付ける。

#### ● この姿を支える具体的な取組

- ・ 子どもが考えたい問をつくるために、ICTで考えを見える化する。
- ・ 一人で考え、みんなで深めるために、学び合いの場面を明確に位置付ける。
- ・ 基礎を固めるために、朝学習・トライタイムを充実させる。
- ・ 教職員にとっても楽しく・充実感のある授業を構築するために、各種調査、教職員研修を授業改善に生かす。

計画



② 安心して学び、安心して話せる学校づくり  
(個性理解、安心・安全、組織的支援、体力づくり)

#### ● 安心・安全

- ・ 自分の居場所づくり
- ・ 個性理解
- ・ チーム支援

#### ● 目指す姿

- ・ 安心して話せる。
- ・ 安心して学べる。
- ・ 困ったときに助けてもらえる。

#### ● この姿を支える具体的な取組

- ・ 子どもの“らしさ”を理解するために、個性・特性の把握と共有を行う。
- ・ 困っている子にすぐ寄り添うために、組織的な支援体制を整える。
- ・ 元気に学べる体を育てるために、生活習慣・体力づくりを推進する。
- ・ 安心して過ごせる学級のために、信頼関係づくりを大切にする。

③ みんなでつくる未来につながる学校づくり  
(幼小中連携、キャリア教育、地域連携、特別活動)

#### ● 未来につながる力

- ・ 幼小中連携
- ・ キャリア教育
- ・ 地域連携・特別活動

#### ● 目指す姿

- ・ 町全体で子どもを育てる。
- ・ 自分の未来を描ける子を育む。
- ・ 地域とつながり、子どもが主役になる。

#### ● この姿を支える具体的な取組

- ・ 学びの連続性をつくるために、幼小中連携を進める。
- ・ 自分の未来を描くために、キャリア・パスポートを活用する。
- ・ 地域とつながるために、学校の今を分かりやすく発信する。
- ・ 子どもが主役になるために、自治的な特別活動を充実させる。

### 【学校経営の基盤】

- ・ 教職員の協働
- ・ あたたかい学校文化
- ・ 地域との信頼
- ・ 共感的な子ども理解

教職員のスタンス「あせらず、あきらめず、愛をもって」



評価

児童

子どもたちはイキイキ  
としているか。

教職員

教職員はハツラツ  
としているか。

保護者・地域

保護者・地域の方々との連携が  
進み、信頼が増しているか。

検証・改善